

平成29年7月24日

林野庁長官 沖 修司 殿
福岡県知事 小川 洋 殿
大分県知事 広瀬勝貞 殿

～ 豊かな森を次世代へ ～

〒662-0042 兵庫県西宮市分銅町1-4
Tel : 0798-22-4190 Fax : 0798-22-4196
E-mail : contact@kumamori.org

一般財団法人 日本熊森協会 1997年～

会長 森山まり子
福岡県支部 支部長 南里 正博
熊本県支部 支部長 上田 量章
宮崎県支部 支部長 鶴永 貴史

<提言書>



平成29年九州北部豪雨が甚大な被害をもたらした主な原因は植え過ぎたスギ・ヒノキの人工林であり、国民の生命と財産を守るためにも、林業のためにも、早急に山を自然林に戻してください。スギ・ヒノキの再造林を中止してください。

平成29年7月九州豪雨災害で被災されたすべてのみなさまに、心からお見舞い申し上げます。

生物の多様性が保たれた豊かな森は清らかな水と空気の源であり、全生物の命と全産業を支えてきました。私たちは、この森を保全し再生するために、兵庫県に本部を置いて全国で実践活動をしている完全民間の自然保護団体です。

今回の九州北部豪雨災害の甚大なる被害からも、戦後の国策であった拡大造林政策の失敗は今や誰の目にも明らかであり、もはや隠し通せるものではありません。国策の失敗は誰よりも林野庁のみなさまがご存じです。

- 広大な山から自然植生を除去し、跡地にスギだけヒノキだけの不自然な単一林を造り続けたことで、
- ① 森の動物たちは生きていけなくなり、現在、人里に大量に出て来て捕殺されています。野生動物による農作物被害が発生しており、過疎化高齢化が進む地元農家は防除することもできず悲鳴を上げています。
 - ② 自然界の仕組みを無視して造られた人工林は保水力が弱く、山からの湧水が激減しています。このままでは日本列島が干からびていきます。日本文明を支えてきた水源の森が失われようとしているのです。
 - ③ また、人工林に覆われた不自然な山は、今回だけではなくこれまでも何度も繰り返されてきたように、台風や豪雨のたびに崩れ、土砂とともに立木が流失して洪水を引き起こし、多くの生命と財産を奪ってきました。まさに人災です。

もうたくさんです。私たちはこのような事態に気づかず気づいても声を上げなかった国民に責任があると思います。林業はとても大切な産業で、私たちは国産林業の振興を願っています。しかし、人工林に依拠した現在の林業は補助金がなければ成り立たず、産業とは言えません。現在、わが国では空き家が増える一方で、今後、人口は減り続けます。木造住宅の需要も激減しています。これからは択伐など自然林をうまく活用する林業に早急に切り替えていくべきだと考えます。尚、かつての林業がそうであったように、奥山、尾根、山の上3分の1、急斜面、谷筋、沢筋は、手つかずの自然林とし、全生物のために、次世代のために、永久保全してください。

今回の痛ましい災害を契機に、スピード感をもって早急なる人工林の自然林化を法整備し推進していただきますようお願い申し上げます。以上。